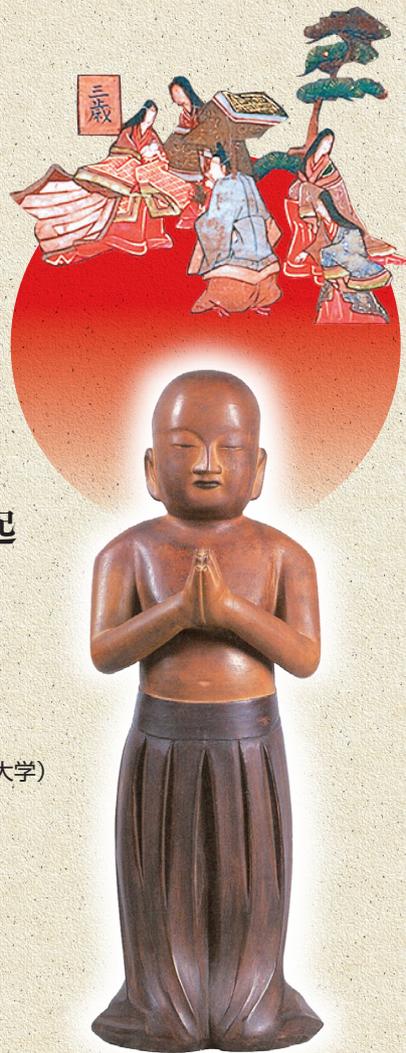


「テーマ」

聖徳太子と説話



6/25 (土)

[受付開始] 13:00~
[講演会] 13:30~17:45
[懇親会] 18:00~ 生協食堂

[基調講演] 牧野和夫 (実践女子大学)
中世聖徳太子伝記の一隅—成阿弥陀仏など

[報告] 高橋悠介 (慶應義塾大学ス道文庫)
律院と聖徳太子伝—称名寺と橘寺を中心に

[報告] 松本真輔 (長崎外国語大学)
聖徳太子伝の日羅をめぐる諸説と愛宕山の縁起

[報告] 村松加奈子 (龍谷ミュージアム)
瑞泉寺本聖徳太子絵伝
—その“説話性”と“礼拝性”をめぐる

[司会] 石川 透 (慶應義塾大学) [コメント] 阿部泰郎 (名古屋大学)

6/26 (日)

[受付開始] 9:30~
[研究発表(午前の部)] 10:00~12:15
[昼食休憩] 12:15~13:35
[総会] 13:35~14:15
[研究発表(午後の部)] 14:15~16:45

藤崎祐二 (九州大学大学院博士後期課程)
『今昔物語集』巻二十七「近江国生霊来京殺人語第二十」の話型に関する考察

旅田 孟 (大阪府立大学大学院博士後期課程)
鼻に付随する観念—大鼻・赤鼻と異形

猪瀬千尋 (名古屋大学CHT研究員)
『古今著聞集』第二六五話前半部について—『刀自女経』と台密におけるダキニ天法をめぐる

糸 汐里 (総合研究大学大学院博士後期課程)
『大橋の中將』の成立と流布

古明地樹 (獨協中学校・高等学校非常勤講師)
絵画テキストによる説話改変—月岡芳年『新形三十六怪撰』における絵の語りを中心に

山本陽子 (明星大学教授)
京都市立芸術大学所蔵「平家物語絵巻」粉本について—伝土佐光信筆「平家物語絵巻」の模本として考える



2016年6月25日(土)・26日(日)
慶應義塾大学三田キャンパス
北館3階大会議室

主催 ● 説話文学会
お問い合わせ ● 説話文学会事務局
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学
文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター内
☎052-789-5697 E-mail: setsuwabungaku@gmail.com
科学研究費補助金基盤研究(S)「宗教テキスト遺産の探査と総合的研究」
—人文学アーカイヴス・ネットワークの構築 (研究代表者 阿部泰郎)

- 田町駅 (JR山手線/JR京浜東北線) 徒歩8分
- 三田駅 (都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線) 徒歩7分
- 赤羽橋駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩8分



研費 KAKENHI (26220401)